

# 4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

## ▶ カリキュラム ◎:必修

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	応用	発展	
<p>大学での学びに適応し、保育学・教育学の基礎的概念や理論を修得する。</p> <p>1年次は大学での学びへの導入と共に、保育学・教育学の基礎的概念や理論に加え、保育に必要な人のかかわりや発達、児童福祉の概念や小学校での教科内容の基礎を学び、子ども理解に基づく保育・教育を行うための知識や技能を習得していきます。</p> <p><b>保育学</b> ◎保育原理 保育者論</p> <p><b>福祉学</b> 児童福祉学概論 社会福祉学 社会的養護I・II</p> <p><b>教育学</b> ◎教育の理念と歴史 教育の制度と経営 人権教育論 同和教育論</p> <p><b>保育の内容</b> 幼児と人間関係 幼児と言葉 幼児と表現(音楽) 幼児と表現(造形) 幼児体育(実技)</p> <p><b>保育内容の指導法</b> 保育内容(人間関係)</p> <p><b>教科の内容</b> 国語学概論 国語表現学 生活科概論 音楽基礎 小学校英語</p> <p><b>教科等の指導法</b> 生徒指導論(進路指導を含む)</p> <p><b>演習・卒業論文に関する科目</b> ◎基礎演習</p> 	<p>子どもの理解、内容・方法の活用に関する理解を深める。</p> <p>2年次は、子ども理解の手法や保育の指導法、小学校教科の基礎的事項と教科指導法、特別支援教育、特別活動・総合的な学習の指導等を学び、園・学校で子どもを理解し、保育や教育を実践する方法を修得していきます。</p> <p><b>保育学</b> 乳児保育I 保育実践の心理学 障害児保育論</p> <p><b>健康学</b> 子どもの保健 子どもの健康と安全</p> <p><b>教育学</b> 教師論 特別支援教育概論</p> <p><b>教育心理学</b> ◎発達と学習の心理学 子どもの理解と援助</p> <p><b>保育の内容</b> 幼児と健康 幼児と環境</p> <p><b>保育内容の指導法</b> カリキュラム論 保育内容総論 保育内容(健康) 保育内容(環境) 保育内容(言葉) 保育内容(表現)</p> <p><b>教科の内容</b> 社会科概論 数学概論I・II 理科概論 理科の実験と観察 身近な現象の観察と科学 音楽応用I 美術概論 造形基礎 造形応用I・II 家庭概論I・II 体育概論</p> <p><b>教科等の指導法</b> 教育の課程と方法(情報通信技術の活用を含む) 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 外国語科(英語)指導法 道徳教育の理論と方法 特別活動・総合的な学習の指導法</p>	<p>保育・教育の分野の社会実践に主体的に参加し、学問や社会の基本原理や真理について、自律的に探求する。</p> <p>3年次から導入される保育実習、教育実習では、1、2年次に修得した知識や方法を活用し、実践からの学びを得ます。実習後は実習経験を基に理論と実践との往還を念頭に、関連学問や保育・教育方法の探究を行い、各自の関心を卒業論文につなげていきます。</p> <p><b>保育学</b> 乳児保育II 保育学特講</p> <p><b>福祉学</b> 相談援助・保育相談支援</p> <p><b>健康学</b> 子どもの食と栄養</p> <p><b>教育学</b> 教育哲学 近代教育史 教育法学 教育社会学 比較教育学 外国語コミュニケーション</p> <p><b>教育心理学</b> 教育相談 臨床心理学</p> <p><b>保育の内容</b> 幼児体育概論</p> <p><b>保育内容の指導法</b> 教育方法論</p> <p><b>教科の内容</b> 絵本学 児童文学 音楽概論 音楽応用II 音楽(合唱及び合奏) 体育実技I-III</p> <p><b>教科等の指導法</b> 音楽科指導法 図画工作科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 外国語活動論</p> <p><b>保育実習</b> 保育実習指導I-III 保育実習I-III</p> <p><b>教育実習</b> 教育実習指導(幼・小) 教育実習I-IV</p> <p><b>実践演習</b> 保育実践演習 教職実践演習(幼・小)</p> <p><b>演習・卒業論文に関する科目</b> ◎演習I・II ◎卒業論文</p>	

※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

## 教員紹介

安楽 和夫 教授 数理統計学	米谷 光弘 教授 幼児健康学	平松 愛子 准教授 器楽(ピアノ)
門田 理世 教授 幼児教育学・乳幼児教育学	渡邊 均 教授 音楽教育学・声楽	中尾 かおり 講師 外国語教育
倉元 綾子 教授 子どもの食と栄養・家庭科指導法	鹿島 なつめ 准教授 発達心理学	細川 美幸 講師 保育学・乳幼児教育学
黒木 重雄 教授 絵画表現	高野 一宏 准教授 スポーツ科学(剣道)	
塩野 正明 教授 物理学	教職教育センター ※教職教育センター所属の教員も児童教育学科の専攻科目を担当します。	
藤永 豪 教授 地理学	田代 裕一 教授 教育方法学	川上 具美 教授 社会科教育
古田 雅憲 教授 国文学・国語学	田中 理絵 教授 教育社会学	雪丸 武彦 准教授 教育行政学
松村 敬治 教授 化学		

## ▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

### 渡邊 均教授

ゼミテーマ 子どもと芸術表現、学習指導の設計と評価

今次の学習指導要領の改正における要点のひとつに「主体的・対話的で深い学び」がありました。学びの本質に一層向かうために掲げられた表現で、変わらず大切なものを再確認した表現と言えます。時間の経過とともに移り変わる音楽や舞台などの芸術表現では、創造する過程で自己関与を高めながら対話的に「答えのない質問(本質)」に向き合うことが求められます。本ゼミでは、集ったメンバーで実際に劇場空間という実験場において芸術表現活動に取り組むとともに、そうした学びに誘う設計法や指導法、評価方法などについても研究します。



### ZOOM IN カリキュラム

#### 保育原理

この講義では、保育に携わるために修めたい全般的理念や基本的知見を学びます。具体的には、乳幼児教育の源流とその推移、保育者の専門性と子どもの育ち、保護者や地域社会との関係性、保育計画を構想するための理念と技術、幼小保連携等の現代の課題、諸外国と日本の保育など、子どもの視座に立って保育を行うための“いろは”を学びます。

#### 特別支援教育概論

園や学校には、自閉症スペクトラムや限局性学習症(LD)等の発達障害や複数言語・文化環境など様々な特性や背景を持つ子どもが通っています。この授業では、子どもの個別の教育的ニーズを理解し、発達・学習支援に必要な知識と方法を学び、検討していきます。また園・学校全体で組織的に対応するためのシステム作りにも触れていきます。

### 主なゼミテーマ

- 算数教材を通しての数学的な見方・考え方に関する研究
- 多様性に根付いた子ども理解を育む
- 物語文(絵本・児童文学)の研究
- 現代の子どもの育ちと学習を取り巻く問題とその支援について考える
- 社会科教育及び教育に関する研究
- 個人・家族・地域社会における生活課題に関する研究の基礎
- 小学校外国語教育および外国語教材に関する研究
- 子どもの健康生活と遊びの発達課題

## STUDENT'S VOICE

### 子どもの成長を促す環境づくりをできる先生に。

いつも明るく、親身に話を聞いてくれた小学校の先生に憧れて同じ道を志すように。各教科の指導方法について学ぶ中で、良い授業は“生徒が興味をもって学べる授業”だと感じるようになりました。そのために、私が特に大切にしているのが授業の導入部分。実習の時、子どもたちの興味を引く言葉を使うことを意識して取り組みました。心に強く残っている「どういうクラスにしたいか、軸をもつことが大事」という実習先の先生の言葉。この言葉を胸に、将来は生徒全員が自分の意見を言いやすい雰囲気を作れる先生になりたいです。

人間科学部児童教育学科 4年

### 黒沢 涼花

(宮崎県・宮崎大宮高等学校出身)

子どもたちにとって  
良い教育、環境を  
さまざまな視点から考える

私が思う  
児童教育学の面白さ

